

③ 参加申込

詳細は、6市2町(広島県福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市、井原市)の社会福祉協議会のホームページ等に掲載している「ボランティア全国フォーラム2017」開催要綱でご確認をお願いします。
 その上で、希望される分科会やフィールドワーク等を選択してお申込みください。
 なお、参加申込に関わる受付・管理、宿泊先確保等の業務は、つぎの業者へ委託しております。

委託先
 〒730-0013
 広島市中区八丁堀5番7号 広島KSビル9階
名鉄観光サービス(株)広島支店
 ☎082-227-2281 FAX 082-227-8863
 (担当者):酒業、北川

参加申込先

- インターネット 名鉄観光サービス(株)広島支店予約受付サイトへ
 サイト名:名鉄観光 大会登録システムサイト
<https://www.mwt-mice.com/events/vfhiroshima2017> 8月から入力が可能です。
- 郵送 委託業者の所在地までお送りください。
 封筒へは、ボランティア全国フォーラム2017参加申込書在中と朱書きしてください。
- FAX 名鉄観光サービス(株)広島支店 FAX 082-227-8863

参加申込期間
2017年(平成29年)8月1日(火)~10月31日(火) 定員になり次第締め切ります

□備後圏域について



□ボランティア全国フォーラム2017会場案内
<福山ニューキャッスルホテル> (〒720-0066 広島県福山市三之丸町8-16)
 ホームページ: <http://www.new-castle.net/access/>
<エフピコRiM・福山市ものづくり交流館、福山市男女共同参画センター>
 (〒720-0067 広島県福山市西町1-1-1 エフピコRiM)
 ホームページ: <http://rim-f.jp/access/>

■広島空港から福山駅まで
 リムジンバス 約65分

■福山駅から
 福山ニューキャッスルホテル 徒歩1分
 エフピコRiM 徒歩5分



赤い羽根福祉基金

□会場周辺図



ボランティア全国フォーラム2017



2017年(平成29年)11月18日(土)・19日(日) ボランティア全国フォーラム2017 検索

- 定員 600人
- 参加費 5,000円 (大学生以下は500円)
- お問い合わせ
 社会福祉法人 福山市社会福祉協議会
 〒720-8512 広島県福山市三吉町南二丁目11-22
 TEL084-928-1330 FAX084-928-1331
<http://www.f-shakyo.net>
- 後援 広島県・岡山県・福山市・三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町・笠岡市・井原市
- メイン会場 福山ニューキャッスルホテル
 福山市三之丸町8-16
※分科会は福山ニューキャッスルホテルと福山市ものづくり交流館、福山市男女共同参画センターを併用します。
- 主催 ボランティア全国フォーラム2017
 備後圏域実行委員会
 「広げろボランティアの輪」連絡会議
 社会福祉法人 全国社会福祉協議会



1 プログラム

第1日目 11月18日(土)

12:00~	■受付開始
13:00~13:25	■開会行事(アトラクション)
13:25~13:35	■開会式 ■主催者あいさつ
13:35~13:40	■来賓あいさつ
13:40~14:40	■基調講演 テーマ:『ボランティア活動・市民活動の展望(総論)』 講演者:上野谷 加代子 さん 「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授
15:00~16:30	■シンポジウム テーマ:『ボランティア活動・市民活動の展望(各論)』 コーディネーター:原田 正樹 さん 「広がれボランティアの輪」連絡会議 副会長 日本福祉大学学長補佐 社会福祉学部 教授 事例発表者: 高田 公喜 さん <<広島県生活協同組合連合会 代表理事専務>> 辰川 和美 さん <<社会福祉法人さんよう 理事長>> 井口 陽平 さん <<NPO法人若者応援コミュニティとりのす 代表理事>>
16:30~17:00	■分科会に向けて(分科会の紹介)
17:30~19:30	■交流会

第2日目 11月19日(日)

9:30~12:00	■第1分科会 『再発見!進化するサロン』 ~ふれあい いきいきサロンがもたらすもの~ コーディネーター:手島 洋 さん <<県立広島大学 保健福祉学部 講師>> 定員:100名 ポイント 先駆的な事例発表を通じて、サロンの在り方や将来展望を考えます。
	■第2分科会 『認知症のある人にやさしい地域づくり』 コーディネーター:中司 登志美 さん<<福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 教授>> 定員:100名 ポイント 先駆的な取組について事例発表を通じて理解を深め、我が事として「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を進めることの意義、また、ボランティア活動・市民活動でできる地域貢献について考えます。
	■第3分科会 『災害ボランティア活動』 ~東日本大震災から学ぶ~ コーディネーター:桑原 英文 さん<<FEEL Do 代表>> 定員:80名 ポイント 発生から20年を経過した阪神淡路大震災、6年経過した東日本大震災での復興状況、また、南海トラフによる大地震が想定される地域での災害に備えるボランティア・市民活動について学びます。
	■第4分科会 『トライ!“協働”による地域づくり』 ~多様なつながりで地域課題の解決に挑戦~ コーディネーター:笠木 弘二 さん<<福山市まちづくりサポートセンター センター長>> 定員:50名 ポイント 住民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア・NPO、企業、行政などそれぞれの役割を踏まえた協働のまちづくりについて考えます。
	■第5分科会 『地域とボランティアが支える子育て』 コーディネーター:八重樫 牧子 さん <<福山市立大学 名誉教授>> 定員:50名 ポイント おもちゃ図書館や地域で取り組まれている様々な子育て支援活動を学び、今後の活動に活かします。
	■第6分科会 『若いチカラが地域を変える!これからのボランティア活動の可能性を語り合う』 ~会って 話して つながろう!!ボランティア交流会inびんご~ コーディネーター:渡部 朋子 さん<<特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 代表>> 定員:100名 ポイント 多世代のボランティア活動者が集い、実践例の発表を通じて、地域づくりやボランティア活動の在り方を考えます。(グループワーク有)
	■第7分科会 『ボランティア活動を文化として根づかせる』 ~持続可能な社会を実現するために~ コーディネーター:「広がれボランティアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム 定員:80名 ポイント ボランティア活動の「継続性」に視点をあて、「文化」として根づかせるには何が求められているか議論します。
13:20~14:20	■分科会共有 テーマ:『フォーラムの振り返り』 コーディネーター:山崎 美貴子さん 「広がれボランティアの輪」連絡会議 顧問 神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授
14:20~15:00	■閉会行事(アトラクション) ■閉会あいさつ

2 フィールドワーク

フィールドワークは、伝統と歴史のある備後圏域内の市町を訪れ、そこで活発に行われているボランティア活動・市民活動を実際に見ていただき、地域への浸透度を肌で感じていただくよう準備したものです。
また、観光的な要素も若干取り入れ、楽しいひとときを過ごせるよう企画しておりますので、積極的なご参加をお願いします。

企画:井原市社会福祉協議会・岡山県社会福祉協議会

居場所づくりに「ロン」地域を繋げるボランティア活動の取り組み

~日本三大星名所「美星」での星空探訪と近代彫刻界の巨匠・平櫛田中の作品堪能~

定員 30名<<最少催行人数 20名>> **参加負担金 17,670円**(宿泊費、交流会費、昼食代、入館料等)

コミマ(コミュニケーションマージャン)サポーターの活動をとおして、地域での男性の役割・やりがいについても考察します。



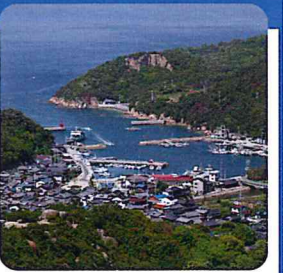
企画:笠岡市社会福祉協議会

未来に受け継ぐ「白石島」の魅力

~海と高齢化がすすむ地域の再生~

定員 25名<<最少催行人数 20名>> **参加負担金 14,610円**(宿泊費、交流会費、昼食代、地引網等)

海洋資源保護への取り組みと、高齢化がすすむ島での助け合い活動を紹介します。



企画:神石高原町社会福祉協議会

この地域で輝いていく

~地域の力と命の尊さ~

定員 20名<<最少催行人数 10名>> **参加負担金 11,470円**(宿泊費、交流会費、昼食代)

人口減少や少子高齢化が進む地域の現状、その中で行われている様々な取り組み、そして、次への可能性を考えます。



企画:府中市社会福祉協議会

歴史を生かしたまちづくり

~おいでんせ 石州街道 出口・上下地区~

定員 30名<<最少催行人数 15名>> **参加負担金 11,850円**(宿泊費、交流会費、昼食代)

石見銀山と瀬戸内海を結ぶ石州街道沿いの宿場町として栄えた伝統と歴史を活かしてのまちづくりの活性化とボランティア活動を通じた町おこしや地域づくりについて考えます。



企画:三原市社会福祉協議会

智将・小早川隆景の築いた「三原」を知る!

~三原城築城 450周年記念企画~

定員 20名<<最少催行人数 4名>> **参加負担金 1,800円**(昼食代)

三原城築城450年を迎え、「三原市を知ろう、知ってもらおう」と取り組んできた市民活動をお伝えします。



企画:尾道市社会福祉協議会

歴史のある街と住民の暮らしを考える

~歴史ある地域に息づく人々の暮らしとボランティアの役割~

定員 40名<<最少催行人数 5名>> **参加負担金 16,660円**(宿泊費、交流会費、昼食代、ロープウェイ等)

交通困難地区で尾道の象徴である「千光寺山地域」の住民の生活課題解決に向けての取り組みを考えます。

